

長所と短所

紀北町立潮南中学校3年

尾上 彩楽

「あなたの長所と短所はなんですか」ということをきかれ、あなたはどちらを先に思い浮かべますか。

自分の長所と短所を答えるとき、何人かの人は短所の方を多く思いついたり、すぐに思い浮かべたりするでしょう。私も短所ばかりでてきて、長所がでてきません。周りの友達も自分の長所が見つからない様子でした。しかし私はその友達の長所をすぐに思いつきます。周りの人から私の長所を教えてもらっても「でも本当は」と考えてしまい、胸を張って長所を言えませんでした。同じことを思う人もいるのではないのでしょうか。私自身もそうですが、みんなにもっと自分に自信を持ってほしいと思ったので、このようなテーマにしました。長所について考えている人がどのくらいいるのか、調べてみました。

「自分には長所がある」という人の比率は欧米諸国では九十パーセント前後なのに対して日本は六十パーセント程度となっています。これを見て私は、私たち日本人はもっと自分に自信をもつべきだと考えました。恥ずかしがり屋で自分の良いところを素直に認められない性格が多い日本人だと思うけど、一人一人素敵なのところがあるので、他人から褒められたことは素直に受けとり、自分の長所として捉えることが大切なのではないかと思いました。

私は自分の長所を短所に負けないようにするため、考え方を工夫しています。例えば、「計画性があるけど臨機応変な対応が苦手」という人の考えを「急なトラブルがあると少し戸惑うけどその時のために何パターンか策を考えることができる」と考えます。また私の場合だと、「計画性がなく行き当たりばったりだけど、その時に対応できる力があるからなんとかなるし」という感じで軽く考えます。そもそも長所がわからない人もいます。私もそうでした。そんなときは短所を長所に変えてみましょう。聞いたことがあると思います。「せっかち」を「行動力がある」、「優柔不断」を「慎重に物事を進められる」などと変えていきます。またその時、短所に目をむけすぎず、その長所をもっと自分の武器にしていけば良いと思います。他にも、身近な人に長所を聞いてみたり、人に褒められたことや成果を出したことを思い出したりしてみるのもどうでしょう。「おもしろい」とか「あなたは仕事が早い」とか。自分の長所の一部になります。

自分の非を認めることもとても大切です。ですが、それについていつまでも責める人がいれば、強気でいましょう。自分の短所、暗いところばかりに目を向けすぎてしまうと、そこから抜け出せず、ずっとそのままです。せっかくのあなたのすばらしいところがみえなくなってしまう。自分の少しでも良いところ、素敵なのところに目をむけてみてください。その長所を活かしていけば、まわりのことや、これからの選択などに役立つのではないかなと思っています。そうすれば、自分に自信を持ち、どんどんプラス思考になり、楽しく、明るくなると思います。自分の良いところも悪いところも知り、それを活かして素敵な人になって、みんなが自信をもって長所を言えるようになってほしいです。私はそんな一人一人の長所を大切にしていきたいです。最後に「あなたの長所と短所はなんですか」